

「税務判例」の読み方と法的な思考力が、スピーディに、メキメキ身につきます!

「税務判例」を

読もう!

判決文から

身につく

プロの法律文章

読解力



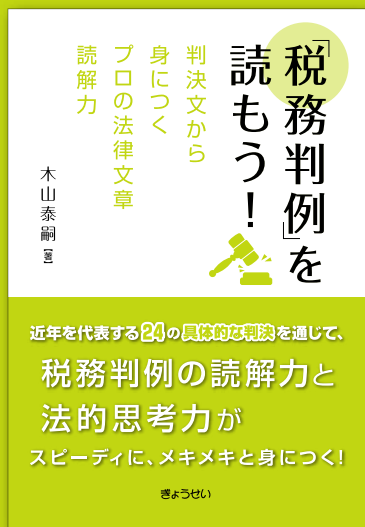
木山泰嗣 [著]

本書の特色

▶いま、多くの税理士が経験する税務調査の場面でも、“法的な考え方”を存分に使いこなせる専門家の必要性が急速に高まっています。

▶このニーズに応え、月刊税理連載の「判決を読もう! 裁判記録から学ぶ税務訴訟の基礎」をさらにパワーアップして単行本化!

▶一般的に判決文は難しく、法律用語などの意味を理解しないとなかなか読むことができないものです。しかし、本書は、近年を代表する24の具体的判決を通じて、その読解力と法的思考力がスピーディに身につきます!



四六判・定価(本体2,000円+税) 送料300円

※送料は平成26年8月時点の料金です。

ぎょうせい

●おかげさまで120年、これからの100年も!!

●はじめにより

本書は、近年重要性が高まる「税務訴訟」の判決の読み方を学ぶための一冊です。

平成23年国税通則法改正によって税務調査の手続が法定化され、すでに施行されています。平成26年には行政不服審査法の改正も行われ、2年後に施行予定です。これは税務調査に「法律によるスクリーニング」をかけた法改正であり、大きな意義を有しています。

課税は「実体法」が基準となって行われるので、それを実現するのが「手続法」という図式になっています。「手続法」の改正が近年、活発に行われているのは、より「実体法」の課税要件充足について法律の網の目が光るようになってきたことを意味するものであり、やはり「税務訴訟判決」を学ぶ意義は高まっているといえます。

以上の観点から、本書は税務実務に携わる専門家を中心に、これから税務についても職域開拓をしようとする弁護士、法科大学院生や租税法を学ぶ学生にも、基本から学べるように実例を挙げ、コンパクトな解説を心がけた一冊になっています。

その一歩前進のために、本書がお役に立てれば幸いです。

平成26年7月吉日 木山 泰嗣

●著者紹介

木山 泰嗣 (きやま・ひろつぐ)

1974年横浜生まれ。弁護士。上智大学法学部を卒業後、都内の鳥飼総合法律事務所(パートナー)に所属(パートナー)し、税務訴訟及び税務に関する法律問題を専門にする。青山学院大学法科大学院客員教授。主な担当事件にストック・オプション税務訴訟(最高裁第三小法廷平成18年10月24日判決等で一部逆転勝訴)などがある。青山学院大学法科大学院では「租税法」などを、同大法学部では「法学ライティング」を、上智大学法科大学院では「文章セミナー」を担当している。

『税務訴訟の法律実務』(弘文堂)で、第34回日税研究賞「奨励賞」を受賞。一般書籍から、専門書籍まで幅広いジャンルで執筆活動を行っている(本書で単著の合計は、34冊)。

主な著書に、『小説で読む民事訴訟法』(法学書院)、『租税法重要「規範」ノート』(弘文堂)、『センスの良い法律文章の書き方』(中央経済社)、『わかりやすい「所得税」の授業』(光文社新書)、『法律に強い税理士になる』(大蔵財務協会)などがある。

最近では、女子アナウンサーが条文を読み上げる「女子アナ民法」及び「聴く」日本国憲法(中央経済社)のCD監修も担当した。

「むずかしいことを、分かりやすく」そして「あきらめないこと」がモットー。

目次

◎はじめに

第Ⅰ部 判決を読もう!

- CASE 1: 遡及立法違憲判決から裁判の骨組を読む!
- CASE 2: 判決主文の意味を学ぶ①～第一審判決
- CASE 3: 判決主文の意味を学ぶ②～控訴審判決
- CASE 4: 判決主文の意味を学ぶ③～上告審判決(上)
- CASE 5: 判決主文の意味を学ぶ④～上告審判決(下)
- CASE 6: 法令の規定等、争いのない事実等
- CASE 7: 争点とはなにか?
- CASE 8: 当事者の主張
- CASE 9: 裁判所の判断
- CASE10: 言い回しでみる判決理由の読み方
- 【コラム】～ちょっと、ひと休み(判決を読む際の注意点)

第Ⅱ部 最高裁判決も読んでみよう!

- CASE11: 最高裁判決の読み方①～規範部分を探そう!
- CASE12: 最高裁判決の読み方②～原審の判断について
- CASE13: 最高裁判決の読み方③～調査官解説との併読
- CASE14: 最高裁判決の読み方④～「補足意見」の意味
- CASE15: 最高裁判決の読み方⑤～下級審での規範との関係
- CASE16: 最高裁判決の読み方⑥～複数の最高裁判決がある場合
- CASE17: 最高裁判決の読み方⑦～判例の射程
- CASE18: 確定判決の影響
- 【コラム】～ちょっと、ひと休み(最高裁判決の思い出)

第Ⅲ部 判決の考え方を知ろう!

- CASE19: 法解釈と法令用語の知識
- CASE20: 裁判所は通達をどのようにみているのか?
- CASE21: 規範とあてはめ
- CASE22: 法解釈の手法～文理解釈と趣旨解釈
- CASE23: 判例の射程と事実上の拘束力
- CASE24: 解釈論の限界を考える
- 【コラム】～ちょっと、ひと休み(法律用語のむずかしさは何が原因!?)

◎あとがき

商品に関するご照会・お申し込みは

フリーコール(通話料無料)
電話受付時間: 平日9時から17時

TEL: 0120-953-431
FAX: 0120-953-495

Web
サイト

URL: <http://gyosei.jp>

キリトリ線

申
込
書

「税務判例」を読もう! — 判決文から身につくプロの法律文章読解力

部

四六判・定価(本体2,000円+税)送料300円 コード 5108079-00-000 税務判例読解

◎上記のとおり申し込みます。

平成 年 月 日

御住所(〒)

[社費・公費・私費]

フリガナ
御氏名

Ⓜ

TEL

e-mail

@

※送料は平成26年8月時点の料金です。

※お客様の個人情報は、契約の履行、弊社からの商品・サービスのご案内以外の目的には使用いたしません。



株式会社
ぎょうせい

本社 東京都中央区銀座7-4-12 〒104-0061

本部 東京都江東区新木場1-18-11 〒136-8575

TEL: 0120-953-431 / FAX: 0120-953-495

URL: <http://gyosei.jp>

●取扱者